

2026年6月23日

学校法人野又学園
松前町
東急不動産株式会社

～北海道松前町の地域資源を活用し、産学官連携で次世代のGX人材を育成～

学校法人野又学園、松前町、東急不動産株式会社

「GX人材育成及び地域連携に関する協定」を締結

函館エリアで大学・短大・高校等を運営する学校法人野又学園（所在：北海道函館市、理事長：野又 淳司、以下「野又学園」）、松前町（所在：北海道松前郡松前町、町長：若佐 智弘、以下「松前町」）、東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：田中 辰明、以下「東急不動産」）の三者は、「GX人材育成及び地域連携に関する協定」（以下「本協定」）を締結しましたのでお知らせいたします。



左) 東急不動産株式会社 環境エネルギー事業第二部 統括部長 加藤 佳郎
中) 松前町 副町長 尾坂 一範
右) 学校法人野又学園 理事長 野又 淳司

■本協定の背景と目的

松前町は、全国でも屈指の風資源に恵まれ、地発地消の再生可能エネルギー拠点づくりを推進しています。東急不動産は2019年から松前町においてリエネ松前風力発電所の運転を開始し、松前町とまちづくり計画策定や再エネ教育に関する協定書を締結後、2026年3月に発足した「RE100 まつまえ SX パートナーズ*1」（以下「SX パートナーズ」）を通じて、小中高一貫の再生可能エネルギー教育に取り組んできました。

本協定は、これまでの取り組みとの連続性を意識し、函館エリアで大学・短大・高校等を運営する野又学園との連携により、対象を高等教育分野へ拡張を図るものです。三者が連携し、松前町における再生可能エネルギー、脱炭素、観光、一次産業など地域資源を活用した学びの機会を創出することにより、GX人材の育成、地域理解の促進及び実践的な教育・研究活動の充実を図り、地域社会の発展に寄与することを目指します。

*1 松前町・松前町教育委員会・北海道松前高校・東急不動産が2026年3月に締結した、小中高一貫の再エネ次世代人材育成に向けた産学官連携枠組み。

■本協定における連携・協力事項

1. 再生可能エネルギー、脱炭素及びGXに関する教育活動、研究活動及び人材育成に関すること。
2. 野又学園の学生を対象とした現地見学、体験学習、講義、演習、フィールドワーク及び探究学習の実施（東急不動産が運営する地域共生型施設リエネウインドファーム松前およびTENOHA松前等の活用、町内一次産業の現場体験、脱炭素学習等を含む）。
3. 都市部在住の高校生等を対象とするGX関連の見学機会及び学習機会の提供に関すること。
4. 本協定に基づく取組の成果整理、広報及び地域内外への情報発信に関すること。

■本協定における各者の主な役割

当事者	主な役割
学校法人野又学園	・傘下教育機関において、GXに関する探究学習・フィールドワークを企画・推進 ・学生のキャリア支援を実施
松前町	・再生可能エネルギー、脱炭素、一次産業などの地域資源を教育フィールドとして提供 ・産学官連携による次世代人材育成を推進と町の持続的な発展に向けた取り組みを推進
東急不動産株式会社	・リエネウインドファーム松前、TENOHA松前等を学びの場として提供 ・GX人材育成の枠組み全体を牽引

■産学官連携プラットフォーム「まつまえ MIRAI」と公式ロゴについて

本協定は、産学官連携プラットフォーム「まつまえ MIRAI」と連動して推進します。同プラットフォームは松前町、松前高校をはじめ、SXパートナーズに参画する清水建設株式会社、東急不動産株式会社、株式会社関電工、シーメンス・エナジー・ジャパン合同会社、一般財団法人日本気象協会、三菱電機株式会社、株式会社東急コミュニティーが連携し、地域と企業、そして人が一体となって未来を共創する輪を広げる活動です。

また、本活動の象徴として、松前町育ちのデザイナー・佐藤健一氏（株式会社AMAYADORI代表）らによる公式ロゴマークを作成しました。「まつまえ」の海や風を示す青いラインと、「未来（MIRAI）」の山や大地を示す緑のラインを交差させ、エネルギーや人、自然、文化が「∞（無限）」に循環する姿を表現。直線的で先進的なロゴタイプに曲線の温もりを添え、松前ならではの持続可能な未来への想いを込めています。



 北海道 松前町

 清水建設

 東急不動産

 関電工

 SIEMENS energy

 日本気象協会

 MITSUBISHI ELECTRIC

 東急コミュニティー

 北海道松前高等学校